

横浜市小学校社会科研究会

3 学年部会

研修会記録

第6号

令和6年11月27日

横浜市小学校教育研究会

会長 沼田 留美子

横浜市小学校社会科研究会

会長 高畠 聡

同 学年部長 栗田 一輝

【提案日時】

11月6日（水）

提案 松本 芽依先生（都岡小） 竹永 記士先生（豊岡小）

【会 場】

横浜市立平沼小学校

司会 白井 亮先生（洋光台第四小） 内藤 和貴（平沼小）

記録 戸川 真理子先生（稲荷台小） 広中 幹久先生（東俣野小）

1 2月一斉授業研究会に向けての第二回指導案検討

授業者 松本 芽依先生（都岡小学校）

1 単元名

「地域の安全を守る～火災から都岡のまちを守る人々の思い～」

2 提案内容

本時では、消防団の活動を通じて、地域貢献に対する思いや感謝の気持ちを育てることを目的としている。具体的には、消防団のメンバーがどのような思いで活動をしているのかを考える内容である。心配な点として、役割に焦点を当てすぎると、学びの深さが不足する可能性があり、感情や気持ちの議論に偏りすぎるリスクがある。また、本気の学習問題と、本時に扱う「消防団の気持ち」というテーマが一致していない。

地域との関わりに関する課題

現在、地域の消防団との連絡がうまく取れていない点が課題として挙げられている。また、消防団メンバーから聞きたい情報が十分に引き出せていないことも課題である。都岡の消防団は非常に地域に根付いており、住民が消防団に参加することが当たり前の文化が形成されている。

本時の焦点

出張所の視点を取り入れ、訓練をテーマに深掘りする案が挙がった。消防署の役割に焦点を当てるだけでなく、その活動がどのように地域を守るために必要か、訓練の重要性を児童にりかいてできるようにする。

3 協議会

消防団から消防署へ取り扱う材の変更

見学の設定

見学の場所として、消防署の出張所を訪れる予定である。1 回目の見学では設備や訓練の目的を伝え、2 回目は実際の訓練の様子を見学することが提案されている。これにより、児童が消防活動のリアルな側面に触れ、理解を深めることができると考えられる。

資料の充実

見学後の授業で活用する資料をどれだけ充実させるかが、授業の進行に大きな影響を与えるとされている。具体的には、訓練の様の動画や消防団に関する統計資料を用いることが考えられている。

授業者 竹永 記士先生（豊岡小学校）

1 単元名

「はたらく人とわたしたちの暮らし～地域に美味しい食材を！スーパーKの秘密～」について

2 提案内容

T 商店街のスーパーKを題材とする。スーパーは、コンビニよりも安く、豊富な品添えであるがスーパーKでは食品のみを取り扱っているところから、なぜ他のスーパーと違って食品のみを取り扱っているのか。という疑問をもてるようにする。また、スーパーKは学校に近く、利用している家庭が多いことが分かった。単元の中で、スーパーの食品が様々な産地から仕入れていること・セールの日に値段を安くすること・閉店時間近くでも揚げ物をつくることからお店が様々な客のニーズに合わせて、販売のくふうをしていることを学習する。

本時について

スーパーKでは、売り物の値段を1円でも安くしているのに、6000円のいくらがスーパーKで売られていることから児童が疑問をもち、お店が様々な客のニーズに合わせて販売していることを学習する。お店で買い物をする人の話などの資料の提示について検討中である。

3 協議会

スーパーKの扱う食材から何を取り上げるか

6000円のいくらに焦点化するよりも様々な値段のいくらが販売されていることに着目した学習問題がよいのではないか。（例）「どうしてさまざまな値段のいくらを売っているのだろうか。」

前時とのつながりをもたせたい。具体的には、「野菜や魚も同じように売っていたよ。」などお店がいくらだけでなく、他の商品も同じように色々なくふうをしていることを気づかせたい。

資料については、「どのようなお客さんがいくらを買っているのか」「お客さんはどのように思っているのか」などを児童に提示したい。

<講師の先生より> 元石川小学校 校長 野間 義晴 先生

都岡小学校 松本先生 「地域の安全を守る～火災から都岡のまちを守る人々の思い～」について

事実に基づいた資料の提示が大切である。消防団から出張所に転換したのは大きな一歩である。毎日訓練をする意味を考えるとよい。また、見学（＝足で稼ぐ活動）によって、設備や訓練の様子を目で確かめることで、子ども達の消防に対する意識も変わると思う。

豊岡小学校 竹永先生 「はたらく人とわたしたちの暮らし～地域に美味しい食材を！スーパーKの秘密～」について

様々な値段で売られているいくらを比較しながらお客のニーズに気づかせていってほしい。子どもと共に考えていくことを大切にしてほしい。事実をしっかりと見せていくことを意識しながら、授業に臨んでいただきたい。

文責 戸川 真理子（稲荷台小学校） 広中 幹久（東俣野小学校）